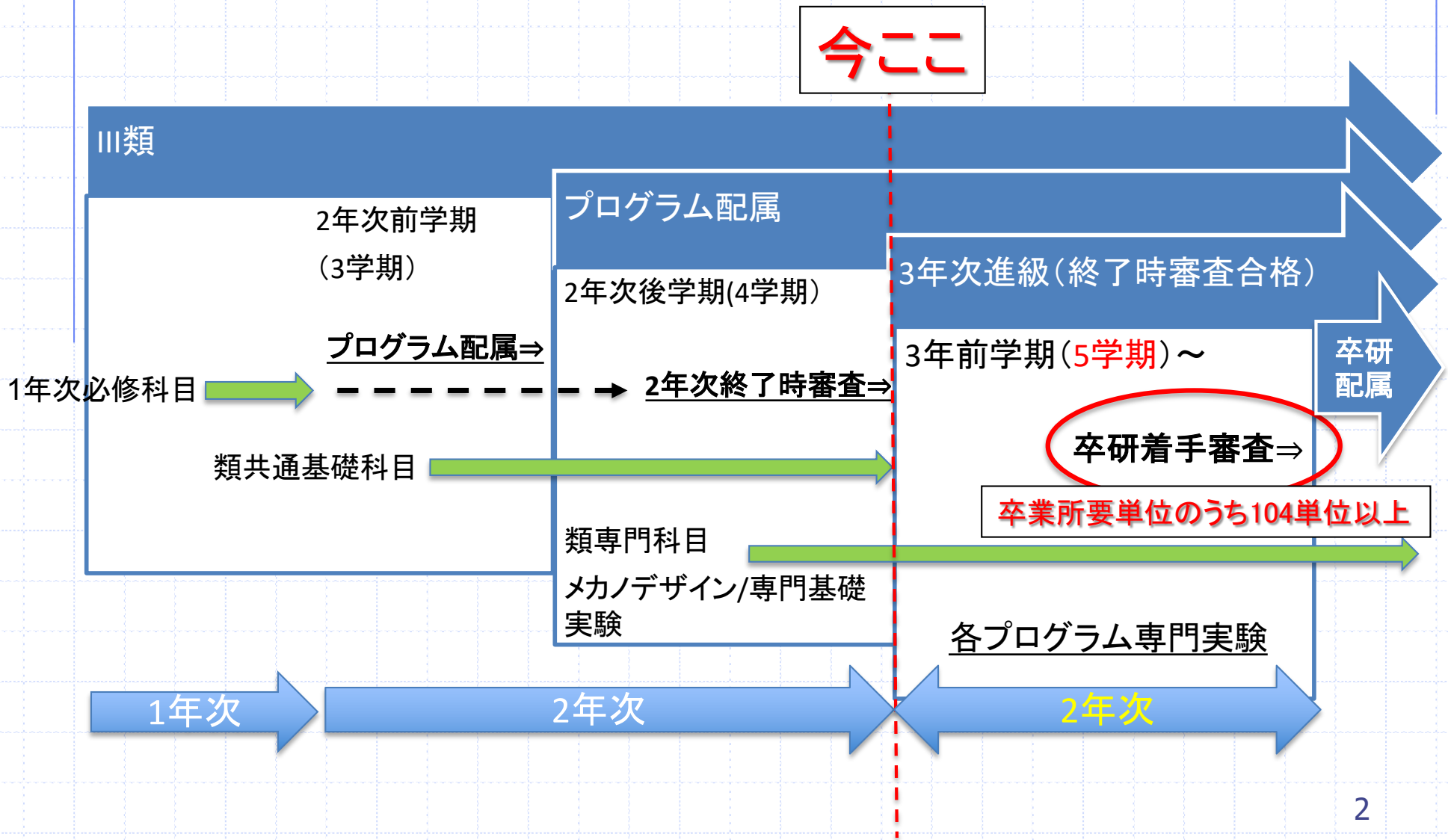
3年次での科目履修の注意点
卒研着手に向けて

学域教育委員
井上洋平（主としてP1）・沈青（主としてP2-P5）
石田尚行
令和6年度3年次ガイダンス

3年次における科目履修の注意点



１年後に「卒業研究着手審査」に合格する【学修要覧18頁】

- 2年次終了時審査を満たし，3年以上修業し，プログラム配属されていること．ただし，特別編入学生については，その類，プログラムに1年以上在学していること．
- 各類，各プログラムの指定する条件を満たしていること．
  - 総合文化科目８単位
    - 言語文化基礎科目I, 言語文化基礎科目II, 健康・スポーツ科学科目
  - 実践教育科目８単位
    - 初年次導入科目
  - 専門科目
    - 理数基礎科目20単位
    - 2年次までの類共通基礎科目及び類専門科目の必修科目のうち，16単位（P4のみ18単位）以上の単位を修得していること．
    - 2年次と3年次の全ての実験・実習科目の単位を修得していること．
    - （実験・実習科目の具体的な科目名は，次ページの卒業研究着手審査基準の一覧表を参照のこと．）
  - 上記審査基準を満たし、更に卒業所要単位（133単位）のうち、104単位以上を修得していなければならない。

卒業研究着手審査基準（抜粋）
【学修要覧19頁】

授業科目区分				修得すべき単位	審査対象科目・要件等
総合文化科目	言語文化科目Ⅰ			4	言語文化基礎科目Ⅰ（1年次英語4単位）
	言語文化科目Ⅱ			2	言語文化基礎科目Ⅱ（独、仏、露、中、韓のいずれかひとつの外国語2単位）
	健康・スポーツ科学科目			2	健康・体力つくり実習1単位、健康論1単位
実践教育科目	初年次導入科目			8	初年次導入科目（4科目）の単位をすべて修得していること。
専門科目	理数基礎科目			20	理数基礎科目（必修科目11科目）の単位をすべて修得していること。
	Ⅲ類	機械システムプログラム	類共通基礎科目・類専門科目	16	2年次までの類共通基礎科目及び類専門科目の必修科目9科目の21単位のうち、16単位以上の単位を修得していること。
				10	類専門科目のメカノデザイン並びに知能機械工学基礎実験第一及び第二並びにマシンデザインA及びBの単位を修得していること。
		電子工学プログラム		16	2年次までの類共通基礎科目及び類専門科目の必修科目10科目の22単位のうち、16単位以上の単位を修得していること。
				8	類専門科目の理工学基礎実験並びに電子工学実験第一及び第二の単位を修得していること。
		光工学プログラム		16	2年次までの類共通基礎科目及び類専門科目の必修科目10科目の22単位のうち、16単位以上の単位を修得していること。
				8	類専門科目の理工学基礎実験並びに光工学実験第一及び第二の単位を修得していること。
		物理工学プログラム		18	2年次までの類共通基礎科目及び類専門科目の必修科目11科目の24単位のうち、18単位以上の単位を修得していること。
				8	類専門科目の理工学基礎実験並びに物理工学実験第一及び第二の単位を修得していること。
		化学生命工学プログラム		16	2年次までの類共通基礎科目及び類専門科目の必修科目10科目の21単位のうち、16単位以上の単位を修得していること。
				8	類専門科目の理工学基礎実験並びに化学生命工学実験第一及び第二の単位を修得していること。
必要総単位数	Ⅲ類	機械システムプログラム	上記審査基準を満たし、更に卒業所要単位（133単位）のうち、104単位以上を修得していなければならない。		
		電子工学プログラム			
		光工学プログラム			
		物理工学プログラム			
		化学生命工学プログラム			

3年次の科目履修のポイント

- 2年次と3年次の全ての実験・実習科目の単位を修得することが必須.
  - P1：類専門科目のメカノデザイン並びに知能機械工学基礎実験第一及び第二並びにマシンデザインA及びBの単位を修得していること.
  - P2：類専門科目の理工学基礎実験並びに電子工学実験第一及び第二の単位を修得していること.
  - P3:（以下省略）. . . .
- 2年次までの専門科目の必修科目は必ず単位を修得すること.
- 3年次の専門科目の必修科目は必ず単位を取得し，選択科目は卒研着手に必要な単位数（104単位以上）を考えて履修・修得すること.
- 不合格だった科目は，全て再履修する.

- 2年次終了時審査の特例合格の場合：
  - 2年次終了時審査の要件を満たすことが卒業研究着手審査合格の必要条件である.